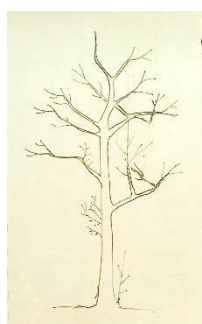


「春夏に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

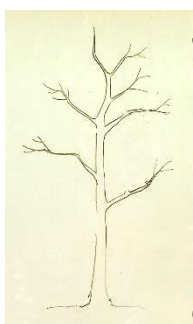
令和3年5月26日（都市農業公園）、27日（足立区役所）

講演

前半はテキストを使って講義を行いました。
切った方が良い枝の見極め方や、切り方について説明していただきました。
また、道具の種類と使い方もご紹介いただきました。



Before



After

徒長枝や平行枝など不要な枝は切り落とします。



ノコギリで枝を切る場合は、枝の重さで幹が裂けないよう“二段切り”をしましょう。



ブランチカラー（枝の付け根のふくらみ部分）を残さずに太い枝を切ると、切り口から害虫が侵入したり腐朽する場合があります。

太い枝や腐朽菌に侵されやすい樹木を切った場合は、腐朽菌が入るのを防いだり、傷の回復を促すために、切り口に癒合剤などを塗り防腐処理をします。



講師 岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」であり「樹木医」としても活躍する造園技術者。平成28年頃から、足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。



実習

後半は受講者の方々に剪定実習をしていただきました。



都市農業公園では、レンギョウの列植をみんなで手入れしました。



区役所では、雨天のため屋内でクスノキの枝を用いて不要枝の剪定を行いました。

参加者の声

樹木の育て方、虫の予防を学びました。
（50代 3回目の参加）

剪定の方法などを知っても、実際に切ると中々難しいなと思いました。
（20代 初めての参加）

実習がとても楽しかった。実物を見ながらの説明は良くわかりました。（70代 初めて参加）